

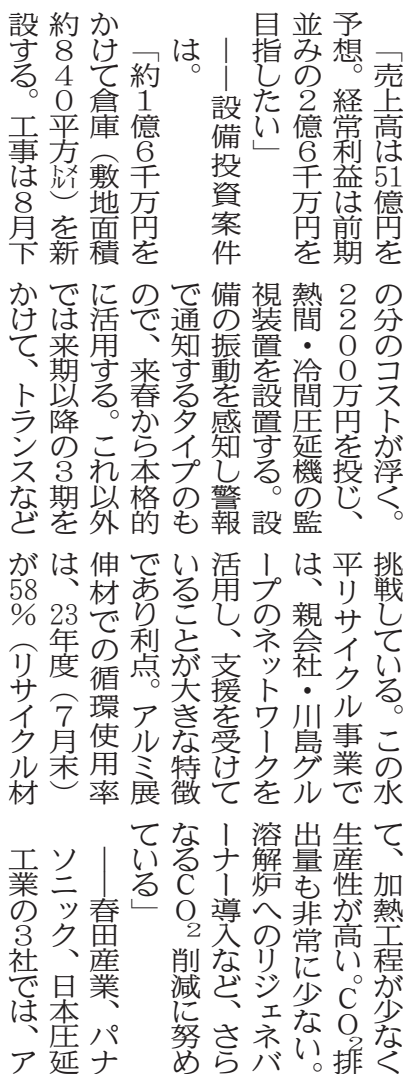
磯部 正信社長に聞く

(白木 毅俊)

材」は同6%増の6900ト。売上高は過去最高を更新した。一増収の大きな要因は地金高で、原料価格の高止まりが好材料となった。販売数量増も業容改善に寄与した。半面、収益悪化の要因は、工場経費や販管費など諸経費上昇が響いた。当社では米Hazel社との帯板連続鋳造機を使っているが、その消耗品などでも利益を押し下げた」

——需要動向は。

「全般的には精彩を欠いている。営業担当者情報も、ネガティブなものが多い。ただ、既存需要家向け100



ト)、24年度が64%(同4400ト)。川島グループに参入した17年度以降、循環使用率・リサイクル材使用率の向上が顕著。ECONOC奨励賞を受賞した。また、24年度は、パナソニックのほだ、パナソニックオペレーショナルエクセレンス社より25年度「春田産業さんはこ

0系スラグは、特需が昨のような迫力はな
昨年春から続いていく、若干の波はあるも
る。これは海外メーカーの、需要動向は底堅
が絡んだものだと思い。二つの特需が業容
識している。加えて、の下支えとなってい
もう一つの特需である。防犯カメラ用記憶
3・5インチハードディスクも中国市場で
ク用6000系合金ス 伸びている」

ラグも昨春から堅調。 ― 今期（26年7月
さすがに過去のピーク 期）業績予想は。

この倉庫新設によりそ

特高受変電設備を総額
竣工を予定。倉庫は約
4億5千万円で更新す
る予定」

― 水平リサイクル
（アルミ展伸材を新
たな展伸材に再生）
の動向は。

「アルミ庄延メーカ
間庄延機2基を連結）
の同業他社に先駆け
というライン。一般
の水平リサイクルに
なアルミ製造に比較
している」

組みは今年2月から
で、年間回収目標は40
ト。納入先で発生した
スクラップを原料とし
て引き取る『クローズ
ドループリサイクル』
は、環境に配慮したモ
ノづくりであり、当社
の重要な役割だと考え
ている」